



日本の犬猫が幸せに生きていくため
知ってほしい命のこと

わんにゃん たまごクラブ

- ペット認可制 -



はじめに

ご覧いただきありがとうございます

この冊子はひとつでも多くの命を救うため、また1頭でも多くの犬猫が飼い主と一緒に幸せな生活を送ってもらうための簡単なガイドブックです。

日本のペット業界の問題点や現状を知ってもらうことで、社会問題にもなっている犬猫の殺処分を減らすために必要なこと、命の尊さ、大切さを学んでいただくことができます。

今この瞬間にも亡くなっている小さな命を一つでも多く救うために力を貸してください。

是非使ってください

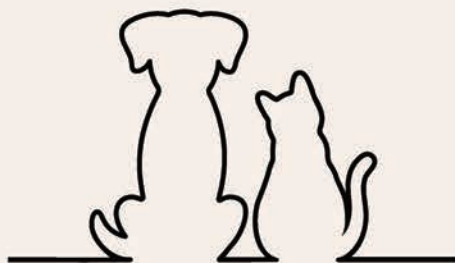
- SNSでの発信
- コピーして配る
- 授業で使う



01

ペット業界の今

なぜ不幸な命は無くならないのか





「かわいい」と言われながら
売られていく犬や猫たち

皆さんはこの子たちが
どのようにお店に並び

この子の親犬、親猫たちは
どんな生活をしているかを
知っていますか？



1.悪徳ブリーダー(繁殖業者)

ペットショップで見かける犬猫の中には
パピーミルと呼ばれる、お金儲けのために繁殖を
行う悪徳ブリーダーの元で産まれた子もいます。

親犬・親猫たちは

散歩や病気のケアも

- **ろくにしてもらえない**



適齢期を過ぎ、病気であ

- **っても繁殖が可能な限り
無理やり産まされ続ける**



みんながパピーミルの子ではありませんが
それを知らずに私たちがショップで
犬猫を買い続ける限り、その子の親たちは
死ぬまで地獄の日々を
送り続けなければなりません。

2. ペットオークション



そんなブリーダーの元で産まれた犬猫の多くは
ペットオークションに持ち込まれます。

ここでは一つの命ではなく
商品と見なされるのです



オークションに出される犬猫は
どんな環境下で産まれたかは問題ではなく
情報開示もされない隠蔽体質が
悪徳ブリーダーが無くならない
原因の一つとして問題視されています。



3. ペットショップ

そんな劣悪な環境下で産まれたのが
ショーケースの中の犬猫かもしれません。



- 生後8週間でお母さんから引き離される
- 命ではなく、一つの荷物(物)として扱われる
- 値段がつけられ色々な人に触られる
- 売れ残ればパピーミルで子どもを作られる

こんな目に遭っている子たちを
“**可愛い**”と眺めていいのでしょうか



4.飼い主

飼い主の勝手に捨てられてしまう犬猫がいます。

身勝手な理由で手放してしまう

- 病気になって治療費がかかる
- 吠え癖がひどく手に負えない
- 引っ越し先に連れていけない



物理的に飼えなくなってしまう

飼い主が入院してしまっても
飼っていたペットの
面倒が見れなくなった



こういったことが
無くならない日本は



ペットを愛せない 国になってしまった

52,793

動物愛護センターに引き取ら
れた犬猫の頭数(令和4～5年)

11,906

殺処分数(令和4～5年)

全国の犬・猫の引取り数の推移
環境省：統計資料「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」より



**1日約33頭が
殺処分されている
計算になります！**

現在動物愛護センターでは民間からの
犬猫の引き取りが拒否できます。

**拒否された犬猫たちは結果捨てられ
餓死、病死、自然死**

**上の数字にはカウントされない
命がたくさん存在します!!**

ペットを愛せる国とは

ペット愛護先進国を見習う！



スイス

世界一動物に優しい国と言われている。
動物の保護や犬の税金制度など、動物のメンタルを第一に考えられた法律や仕組みがたくさんあります。



オーストリア

動物の殺処分施設はなく、保護施設からペットを迎えるのが一般的だが、安易な考えの飼い主に渡らないよう譲渡条件があり、なんと犬の糞を放置すると罰金。



ドイツ

ティアハイムというヨーロッパ最大の保護施設からペットを迎えるのが一般的。引き取られた動物の9割が譲渡される。またペットを飼うために免許が必要。

ペットファーストな法律や環境作りがなされている



ペット愛護先進国の特徴

殺処分の
施設はありません



ペットを飼うには
訓練を受けないと
いけません



免許を持つブリーダー
保護施設からペットを
迎えます



町中に糞を
捨てる事が出来る
ポストがあります



リードのままで
電車で飼い主と
乗ることができます



マイクロチップの
装着が
義務付けられています



2024年にフランスで犬猫のペットショップでの販売が禁止となる法律が施行されるなど、海外では動物を守る取り組みが進んでいます。

ペット愛護と幸福度は比例する

動物愛護先進国は国民の幸福度が
高いことも一つの特徴です。



1位
フィンランド



2位
デンマーク



4位
スウェーデン



9位
スイス



10位
オーストリア



51位
日本

Sustainable Development Solutions Network : World Happiness Report より
※2024年度



動物を大切にする仕組みを作るとは
命の尊さ、大切さを理解することに繋がり
豊かな心が育まれ、
それが自殺率や国民の幸福度へも
影響しているのではないかと思います。



日本にも犬猫を守る仕組みを

飼い主を認可制に



【最低限の責任】

飼い主は講習や躾などのトレーニングを必ず受け、認可をもらうようにする。



【関連付ける】

マイクロチップの埋め込みでペットと飼い主を関連付け、緊急の際の預け先などを決めておく。



【命を大切にする】

命を預かる責任、意識が向上し最後まで責任を持って犬猫を飼う人が増え、不幸な命が減る。

法律はすぐに変えられない

**殺処分施設をすぐに無くすことはできない
だが飼い主は意識を今変えることができる**

ペットを迎える心構え

本当にその子の命に責任を持てますか？

- ☐ 犬猫の寿命は約10～20年です。
最期を迎えるまでその命に責任を持てますか？
- ☐ その子が自由に動ける環境ですか？
- ☐ 適切な食事を与え、躰、ケアを行えますか？
- ☐ 家族に動物アレルギーはありませんか？
- ☐ 自分にもしものことがあった場合に
預けることができる家族や知人はいますか？
- ☐ 食事以外にもトリミングや病気になれば治療費
などの費用がかかることを理解していますか？
- ☐ ペットも年を取ります。
介護が必要になったり、長期の病気治療が必要に
なる可能性があることを理解していますか？



COLUMN 01

2015年に取り上げられたある一つの
ニュースにより明るみになったペット業界の闇。

引き取り屋

ペットショップやオークションで売れ残った
犬猫や繁殖に使用できなくなった犬猫を
引き取る代わりにお金を受け取る業者のこと。

実際に引き取り屋の現場へ出向いた獣医師が見た
犬猫たちの健康状態はひどいものでした。
爪は伸び放題、緑内障で目玉が飛び出たり、
狭いケージのせいで足が曲がっている子もいたそ
うです。

こういった業者が生まれる背景に動物愛護センター
が販売業者からの犬猫の引き取りを拒否できるよう
になったことが一つの要因と言われています。

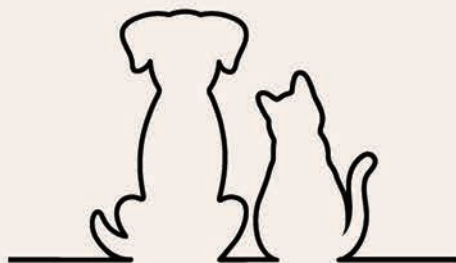
こういった事例を無くすため
にも認可制や動物を取り扱う
人たちを厳正に取り締まる
法律が必要です。

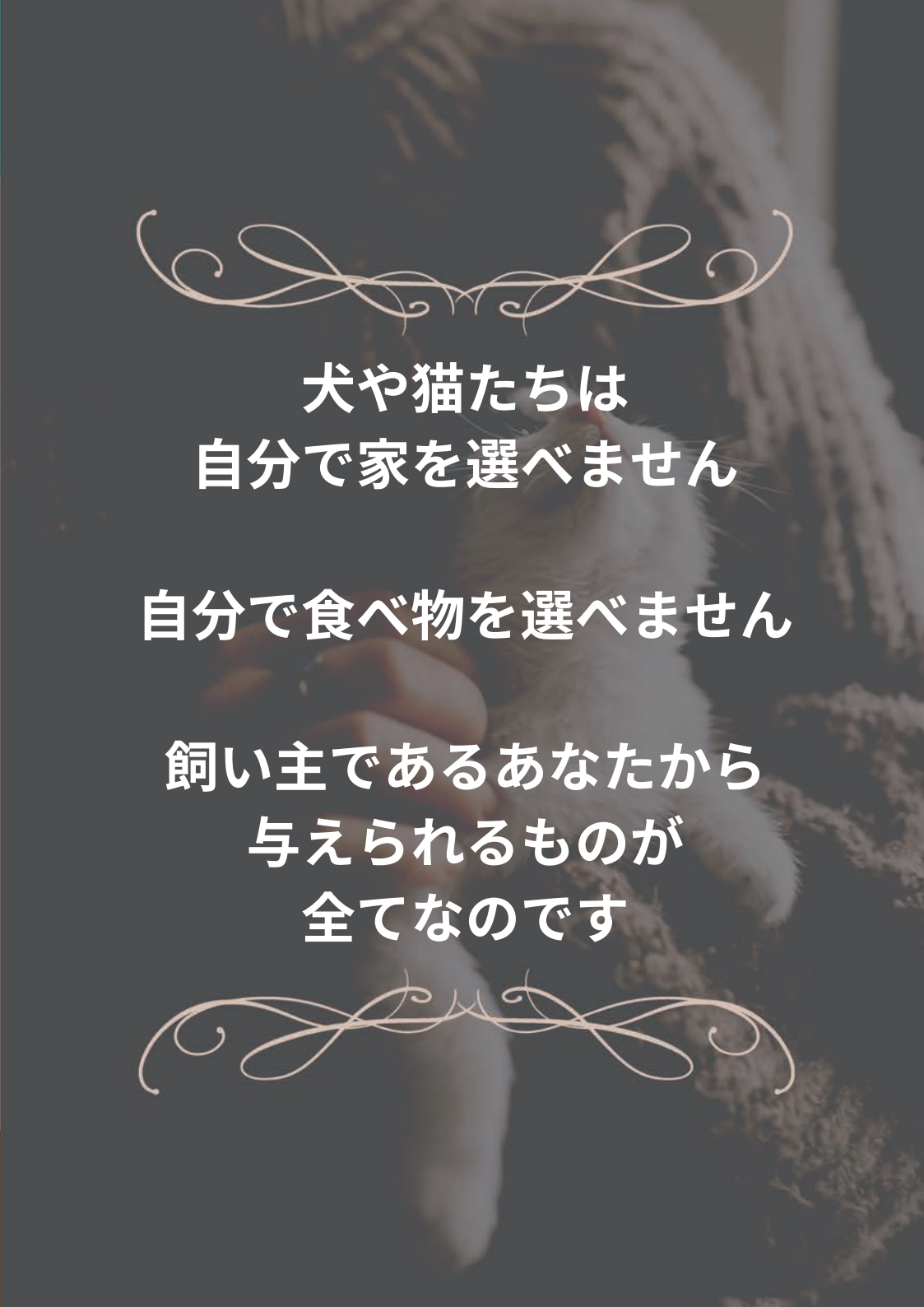


02

飼い主さんへ

大事な家族を守るために





犬や猫たちは
自分で家を選べません

自分で食べ物を選べません

飼い主であるあなたから
与えられるものが
全てなのです



適切な躰(しつけ)

犬であれば

「オスワリ」や「マテ」などの基本的な躰を行い、常に飼い主がコントロールできるようにしましょう。



トイレの躰やクレート(ケージ)に普段から慣れさせておきましょう。

こういった躰をしておくと

災害が起きたときに避難がスムーズであったり近隣住民とのトラブルを避けることができます。

適切な躰は犬猫が人間社会の中で飼い主、周りの人と幸せに生きていくために必ず必要なものになります。



散歩について

1. 必ずリードを着ける



躰が行き届いていても犬が動くものを追いかけて、事故に遭ったり迷子になることもあります。

2. 炎天下の中で散歩をしない



特にアスファルト上での散歩は肉球のやけどにつながります。夏場の散歩は早朝や日が沈んだあとにしましょう。

3. ごみを拾う



愛犬が異物を飲み込まないように、日頃から散歩道のごみ拾いを心掛けましょう。地域美化にも役立てます。

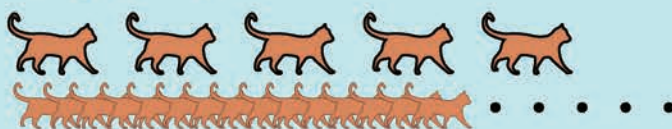
不妊・去勢について

子どもを産めないのはかわいそうと思うかもしれませんが、知らない間に頭数が増えてしまうこともあります。



1回のお産で3～6匹

1年後には20頭以上に



**1人ではとても飼えない
多頭飼育崩壊に**

もちろん義務ではありませんが不妊・去勢は発情期に見られる鳴き声などから発展する近隣住民とのトラブル回避や生殖器系の病気の予防が出来るなどのメリットもあります。

犬や猫に与えてはいけないもの

DANGER



**玉ねぎ、ネギ類
にら、ニンニク、らっきょう**

赤血球を破壊する成分が含まれ
貧血を引き起こします。

DANGER



ブドウ、レーズン

中毒を起こすメカニズムは不明
ですが、少量でも腎不全を引き
起こす可能性があります。

DANGER



チョコレート、ココア

カカオに含まれる成分が嘔吐、
下痢、けいれいを伴う中毒を
引き起こす。

最悪の場合、命に関わる危険も。

アボカド

DANGER



生の甲殻類 いか たこ マカダミアナッツ

DANGER



DANGER



サプリメントについて

サプリメントを選ぶときの注意点



注意点1 なぜ与えるのか明確にする

→安易な考えで与えない



注意点2 栄養素の過剰摂取に注意する

→サプリメントの併用時は注意



注意点3 サプリメントに頼りすぎない

→薬ではない

困ったときは専門家に相談！

獣医師選びも大切です。

セカンドオピニオン（サードオピニオン）を利用して様々な方の意見を参考にしながら、信頼のおける獣医師を見つけ、相談しましょう。

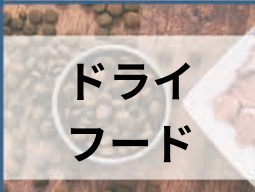
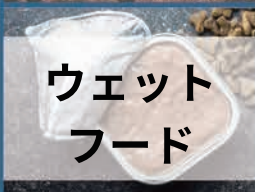
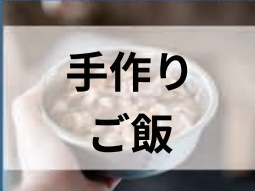


フードについて

犬猫の健康を守るため、より良いものを年齢や体質に応じて与える必要があります。



フードの種類とメリット、デメリット

	メリット	デメリット
 ドライ フード	・手軽に与えられる ・災害時に便利	・粗悪なものが多い ・水分が摂れない
 ウェット フード	・水分が摂れる ・食べやすい	・開封後の 保存期間が短い
 手作り ご飯	・水分が摂れる ・とにかく新鮮	・手間がかかる ・栄養素がばらつく



原材料、添加物などよく注意して
選ぶようにしましょう

COLUMN 02

ペットフードを選ぶ際に
必ず覚えておいて欲しい言葉があります。

4Dミート

- **DEAD** （と殺以外で死んだ動物の肉）
- **DISEASE** （病気の動物の肉）
- **DYING** （死にかけの動物の肉）
- **DISABLED** （障害がある動物の肉）

こういった肉を使用する商品の原材料には
肉副産物、肉粉や肉骨粉、ミートミール、チキンミール、家禽ミール、ポークミールなどと表記されます。

この肉の問題点は犬猫が共食いをするのが懸念されることや、薬漬けにされた動物の肉も含まれているためにその薬などがフードに残っている可能性があり、それがアレルギーや病気の原因となることが挙げられます。

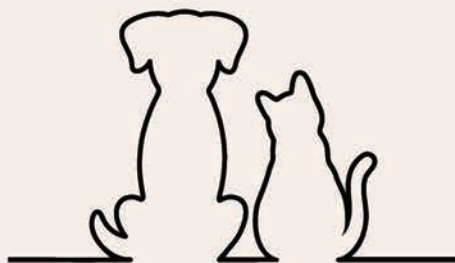
フード一つでその子が
健康に過ごせるかが
変わるのです。



03

命を救うために

日本がペット愛護先進国になるには





今この瞬間にも多くの
犬猫が犠牲になっています

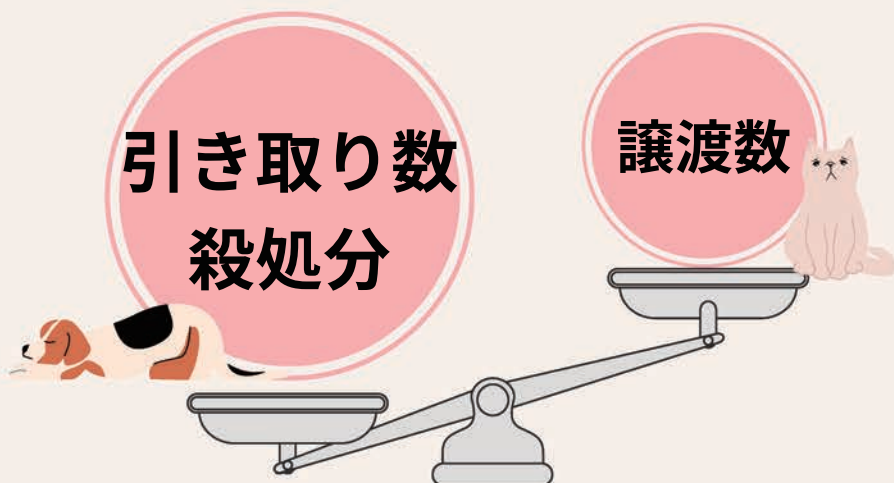
この問題にどう向き合うのか
どう動くのか

問われているのは
私たち人間のモラルです



引き取り数を減らす

日本は今こんな状態



飼わないことも一つの選択です

経済的に難しい、触れ合う時間が取れない。
今の自分では飼うことが難しいと判断することも
不幸な命を減らすための立派な決断です。



私に飼えるかしら...?

ペットショップから買わない

今の日本ではペットショップから
犬猫を迎える方がほとんどだと思いますが
このままでは不幸な命が産まれる
負のサイクルを止めることはできません。

今この瞬間にも命を奪われている
犬猫たちがたくさんいます



犬猫を家族として迎えるなら

動物愛護センター

動物保護団体

優良ブリーダー
(シリアスブリーダー)



保護犬、保護猫について

保護犬、保護猫が安易な考えの飼い主に渡らないように譲渡にも条件があります。

保護犬・保護猫は
安く飼えるから

家族の同意が
得られていない

一緒に暮らすための
スペースが確保できない

このような状態では犬猫を譲渡できません

この子たちが
二度と悲しまないように



里親になる側も簡単に引き取れるわけでは
ないことを認識しておきましょう。



命に対しての責任感を持つ

飼うではなく、命を預かる

譲渡を待っている保護犬、保護猫はたくさんいますが譲渡された飼い主が犬猫をちゃんと育てられなければ意味がありません。

犬猫を育てる最低限の責任

1. 躰を行い、最期まで責任をもつこと
→ 飼い主が常にコントロールできる
2. 不妊・去勢を行うこと
→ 望まない命を増やさない
3. 飼い主とペットを結びつけること
→ マイクロチップ装着、預け先を決めておくことで保護されても戻るように

ちゃんとした飼い主さんの所へ行きたい



発信する

日本のペット業界の現状や
ペットショップ以外にも犬猫を迎える場所が
あることを知らない人はたくさんいます。
そのためには

現状を知って、伝える

SNS



家族の会話



授業



この冊子を読んで命の大切さ、尊さ
犬猫の命の尊厳を守ることを
家族、友人、知人に伝えていただき
より多くの方に命について
考えてもらいたいと思います。



犬猫の命を守る方たち

この問題の解決に向けての仕組み作り、
情報発信を行っている団体はたくさんあります。



環境省

動物の愛護、管理を管轄する省庁。

ホームページでは動物に関する法令やポスター、
ガイドラインなどを見ることができます。



環境省：関連資料「パンフレット・報告書等」より出展
左：あなたのペットの身元証明にマイクロチップ
右：ポスター「大丈夫？あなたとペットの災害対策」



公益社団法人
日本愛玩動物協会

動物に関する知識、犬猫の躰などの知識を習得・普及する指導員養成のための

「愛玩動物飼養管理士」認定制度があり、
会員になればトリミングや
ペットホテルの会員割引などがあります。



公益社団法人 日本愛玩動物協会ホームページより出展



公益財団法人
動物環境・福祉協会Eva

女優の杉本彩さんが代表を務める。

動物福祉の啓発活動をSNSなどでも発信している。

公益財団法人 動物環境・福祉協会Evaホームページより出展

全国に様々な保護団体があります。
それぞれ活動が違っていても想いはひとつです。

この国から殺処分を無くしたい

COLUMN 03

体を丸めてこちらを見る犬。
ひっかき傷だらけの壁。

動物愛護センターでは、保護された犬猫は預かり期間を過ぎるとドリームボックスという機械に入れられ殺処分されます。

※麻酔薬注射による方法もあります

この殺処分の現場を一度でもいいので、友人やご家族と一緒に訪れてみてほしいのです。

この冊子でお伝えしてきたこと以上に命の大切さや尊さを身をもって体験してもらえるのではないかと思います。

実際に見て、聞いて、感じてもらうことで命に対して真剣に向き合い、考え、そういった想いを持つことで今の日本のペット業界の現状、

それだけでなく人間社会でも命を大切にしてくれる人が増えていくと私たちは信じています。





おわりに



殺処分0の未来に向けて

ここまでお伝えしてきたことが全てではありません。

ブリーダーやペットショップ、飼い主の中にはこの問題に真剣に向き合い、ひとつでも多くの命を救うために活動されている方もたくさんいらっしゃいます。

ただそれでも多くの犬猫たちの命の尊厳が守られていないのがこの国のペット業界の現状です。

そんな中でも今この瞬間から私たちの動物の命に対する意識を変えるひとつのきっかけになるようにこの冊子を制作しました。

この冊子がペット業界を変える**1滴のしずく**となりその波紋がやがて日本中に届き、多くの命を救うきっかけになると信じています。



最後までお読みいただき
ありがとうございました

